

北海之光

9月号 北海道教区報

主にあってはあなたがたの
 労苦がむだになることはない
 コリントI 15章58節

発行所 北海の光社
 001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12
 日本聖公会北海道教区事務所
 電話 011-717-8181
 F A X 011-736-8377
 E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp
 http://www.nssk-hokkaido.jp
 発行人 植松 誠

神さまの詩

北見聖ヤコブ教会牧師
 網走聖ヤコブ教会牧師
 司祭 フランシスコ 飯野 正行

里親として正式に登録され
 一四年半、実際に要保護児童
 (里子)と共に生活し始めて
 一三年半、ファミリーホー
 ムのあを開設して七年半、
 これまで短期長期合わせて
 二二名の子どもたちを養育し
 巣立って行きました。

私たちは「より快適な」生
 活を追い求めると思いますが、
 「ごく普通の」生活を経
 験出来なかつた子どもたちが
 たくさんいます。親の入院、
 障がい、投獄、暴力、様々な
 虐待、育児拒否その他により
 行き場を失つた子どもたちが
 たくさんいて、その子どもた
 ちが家庭的な環境の中で時が
 来るまで共に生活するのが里
 親です。

へブライ語の「デレク」から
 来ていて「踏みつける」とい
 う動詞の名詞形です。道とは
 A地点からB地点まで行く時
 に通る、足の裏で踏みつけて
 行く地です。イエス様は私た
 ちが天の御国に入るまでその
 上を歩いて行く道なのです。

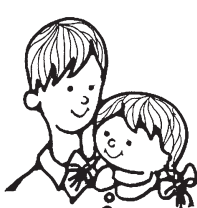
「わたしはあなたの足の裏で
 踏みつけられるために天から
 下った」と言われているかの
 ようです。「里親」という存
 在もある意味で似ている所が
 あります。何らかの事情によ
 り行き場を失い、二進も三進
 も行かなくなつた一人の子ど
 もが、その人生のA地点から
 B地点までその足で踏み行く
 「道」となる存在なのです。

の場」です。行き場を失つた
 子どもたちが、保護される形
 で児童相談所からホームへ
 来て共に生活します。第二
 に「心の整理をする場・見つ
 め直す場」です。フラッシュ
 バックが起ることもありま
 すが「飯野さん家」でのごく
 普通の生活の中で、少しずつ
 心の平静を取り戻し、自分は
 これからのように歩んで行
 くべきかを少しずつ考え始め
 ます。第三は「居場所」です。
 赤ちゃんにとっては「なんか
 知らないけどいる所」。学生
 たちにとっては「学校から
 帰って行く場所・いつでもそ
 こにある場所・取りあえずい
 る場所」です。

教会は「神の家族」で、主
 にある「家庭」(ホーム)で
 す。里親宅が里子たちにとつ
 てそうであるように、教会は
 私たちにとって「救いの場・
 人生を見つめ直す場・大切な
 居場所」なのではないでしょ
 うか。神のみ心を探ね求めて
 生きる、傷ついた癒し人の集
 う所なのです。

られていることもあり、その
 中の一つは「詩は言葉では表
 現出来ないもの」ということ
 です。言葉では表現出来ない
 深い思いがあつて、それを何
 とか伝えたくて前の行と後の
 行とがあるのです。ケズイツ
 クの説教者ジョン・サン・ラム
 師は「信仰とは行間を読む
 こと」と語っておられました
 が、共通点があるように思え
 るのです。エフェソ二章一〇
 節「わたしたちは神に造られ
 たもの」「造られたもの」(ポ
 イエオー)は「芸術作品」を
 表し「ポエム」(詩)のほと
 の言葉です。私たちは「神の
 詩作品」とも言えるのです。

寒い時季のことですが、妻
 の留守の時、食器洗いを終え
 た私が腰を焙る(あぶ)ようにストー
 ブの前に横になつたのです
 が、幼な子がトコトコとどこ
 かへ行き、私に毛布をかけて
 くれたのです。この時私は「神
 さまの詩」を聴いたような気
 がして、
 ジーンと
 したので
 す。





左から佐藤さつきさんと娘の可林さん

—心の窓をひらいて—

福音と私(二三〇)

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

聖マーガレット教会信徒

クララ 佐藤 さつき

好きな聖句

「何事にも時があり

天の下の出来事にはすべて

定められた時がある」

コヘレトの言葉 三章一節

いきました。

いつか教会に戻りたいとい

う気持ちを持っていましたが

バプテストにはなんとなく違

和感を覚え、教会に行きた

くてもどこに行けば良いのか決

めかねて、宙ぶらりんの状態

が長く続きました。

転機は夫の転勤で函館に住

んでいた時に訪れました。た

またま「西部地区・魅力探

訪」というカルチャー講座

を受講していて、ロシア正

教、カトリック、日本基督教

団、そして聖公会の教会を訪

れ、それぞれの教会で聖職者

からお話を聞く機会を与え

られたのです。聖ヨハネ教会

の聖堂に入った瞬間、直感的

に「ここかもしれない」と思

い、すぐに藤井先生に日曜日

の礼拝に参加したい旨を告げ

ました。函館時代は娘が高校

生だったこともあり、月二回

ほどの出席だったように思い

ます。二〇一〇年札幌に戻り、

聖マーガレット教会へ。一年

半後に洗礼、堅信のお恵みに

与りました。当日は名親とし

て越田洋子さんが函館からい

らして下さり、また聖ヨハネ

教会でもお祈りに加えて頂い

たと聞いて有難く、また嬉し

かったです。

教会へ行けること、誰かの

ためにお祈りすること、また

皆様に祈って頂く事が出来

て、今は満ち足りた思いでお

ります。

函館にいた頃から、聖霊の

お導きを感じるようになりま

した。当時は「洗礼を受けて

いない私に、そんなことが起

きるのだろうか？」と不思議

でしたが、最近「先立つお恵

み」について教わったので、

やっと理解出来ました。

神様から頂くお恵み…それ

はすぐにそれと判るお恵み、

随分後になって「ああ、そう

いうことだったのだ」と気付

ような、全く予想していな

かったお恵みも…

私どもの娘は東京の大学を

卒業し、そのまま本州で働い

ておりました。特技(語学)

を活かした仕事をしたいと考

えてはいましたが、積極的な

転職活動はしていませんでし

た。それが今年に入って、仲

介業者からアメリカの日系企

業の研修生募集の求人情報を

頂き、とりあえず応募してみ

たところ、トントン拍子に

採用が決まってしまったので

す。それは一年半、ロスアン

ゼルスの旅行会社で働くとい

うものでした。

インターシップピザで渡

航すべく準備をしていた訳で

も無く、いちばん驚いたのは

本人かもしれない。最近

ピザの審査が厳しくなり、ア

メリカ大使館からは、認可さ

れるまでは渡航の準備はしな

いようにとの注意がありまし

た。そのため渡航が決まった

のが出発一〇日前、入国後一

週間で勤務開始という慌ただ

しいスケジュールになってし

まいました。

住むところは決まらず、車

す。心配になった私は李香男

先生のことを思い出し、聖ミ

カエル教会の信徒さんに調べ

てもらったところ、先生のい

らっしゃるレドンドビーチの

教会と娘の勤務先が車で二〇

分ほどの近さと判明、早速

メールをして娘のことをお願

いしましたら、快く引き受け

て下さいました。

到着後すぐに娘の携帯に連

絡を頂き、特に最初の一週間

は諸手続きに始まり、部屋探

し、そして教会関係の集まり

に連れて行って下さったりも

して、すっかりお世話になり

ました。

娘はクリスチャンではあり

ませんが、サウスベイ聖公会

の皆様のお人柄のおかげで

しよう、先生の日本語礼拝に

もすんなり参加するようにな

りました。日本にいたら、た

ぶん自ら教会に行くこともな

かったと思います。

そして今、娘は李先生ご一

家、日系信者のジョンさん・

ゲイルさんご夫妻に家族のよ

うに接して頂いて、とても充

実したアメリカ生活を送って

おります。主に感謝。

常置委員会報告
第一〇回 八月一六日

《協議事項》

- 一、「管区人権セミナー」の件
- ・九月四日～六日熊本で開催の管区人権セミナーに広谷司
- 二、植松主教出張の件
- ・一〇月一三日、横浜で開催されるMTSの礼拝への出張を承認した。
- 三、来年度の予算の件
- ・財政部長より提出された各教会の奉獻額(案)を承認し

祭の参加を承認した。

四、定期教会会の日程の件

・前日のプログラムについて協議し、十一月二日午後七時より議事(諸報告の審議)を開始することとし、それを

合わせ午後三時または四時より学びの時を設けたい。

た。

五、教区会へ常置委員会より提出する議案の件

① 内規の一部変更について。
② 稚内聖公会、厚岸聖オースチン教会の今後について。

③ 教区宣教一五〇周年記念事業の計画案について。
④ 管内聖公会の件



主教室より

八月の道央分區牧師会で、池田亨司祭による「紙芝居と今井よね」という講話をお聞きしました。一九八七年、今の三重県津市で生まれた今井よねという女性が、東京の高等師範学校時代に洗礼を受け、卒業後は渡米。神学校で学んで帰国し、伝道のために紙芝居を作ったというお話でした。聖書から「少年ダビデ」「善きサマリヤ人」「桑の木の子アカイ」など、またイエス伝シリーズとして、イエスの生涯のいろいろな話の紙芝居を世に出しています。

かヴァーチャル、4Kなどという私のよくな年代の者には理解しかねる映像・情報が、小さな子どもからおとなにまで氾濫しています。そのような時に、紙芝居の話聞いて郷愁を覚えました。お年を召した方たち、皆さん、覚えていらつしやるでしょう。私たちの子ども時代のあの紙芝居のおもしろさと興奮を。木枠の中の絵を必死で覗き込み、話し手の話術に引き込まれた、あの冒険と感動のスペクタクル。

教会の日曜学校でも、私たちは紙芝居をしてくれと先生にせがんだものでした。たった一二枚の絵から成る聖書の物語やイエス様のご生涯。でも、それは、今思い出してみると、その中に、聖書がきちんと語られ、何が福音のメッセージであるか、子どもたちにも理解できるように分かり易く描かれていたのです。それらの紙芝居は、今も私の脳裏に鮮明に焼き付いています。

イエス様が人々にされたお話は、たぶん、もともとはとても単純明快であったのではないのでしょうか。誰にでも分かる、人々の心を惹きつける、短いお話。それこそが宣教における説教かもしれません。私たち説教者は、ハイテクとスピードの現代にあつて、紙芝居の原点に立ち返ってみる必要があるのではないかと改めて思いました。

主教 ナタナエル 植松 誠

2019年 北海道教区修養会

みことばとえほん ~絵本が教える信仰生活~

講師：藤井 八郎 司祭 (函館聖ヨハネ教会・今金インマヌエル教会)

日時：10月13日(日) 18:30～
10月14日(月・休) 13:30

会場：札幌キリスト教会
札幌市北区北8条西6丁目2-18

参加費：全日 1,300円
部分参加 500円+14日昼食 300円

*大学生まで参加無料(昼食代別途)

主催 日本聖公会北海道教区宣教活動推進部

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

一〇月九日(水)
午前一〇時三〇分
於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 森 安延 衛

主教 八代 斌 助

伝道師 笠間 伊太郎

司祭 芥川 寿 哉

伝道師 石川 光子

司祭 江口 博

一九四五年一〇月九日
一九〇一年一〇月一日
一九七五年一〇月二〇日
一九六八年一〇月二一日
二〇〇三年一〇月二二日

ユース・アッセンブリー二〇一九報告

教区青年会 司祭 クリストファー 永谷 亮

今年のユース・アッセンブリーは、八月八日(木)～

一日(日)まで、札幌市内四教会を会場に、参加者一名、スタッフ五名、計一六名によって三泊四日で行われました。各教会ではその教会の牧師から教会の成り立ちや歴史、特徴などについて学ぶとともに、参加者・スタッフの所属教会との違いについても



8/9(金) 聖マーガレット教会で神学院・校長 / 佐々木道人司祭と

また参加者の多くが教会でのサーバー等の奉仕をしていることから、教会での奉仕についての学びと実践も行われ、今後の各自の奉仕に役立つことを願っています。一〇日(土)の午後はグループに別れての自由時間。「札幌の戦跡」を最低一箇所ループに含めることをルールに、各グループで楽しい時間になったようです。

最終日(一日)は札幌キリスト教会の主

日聖餐式に出席し礼拝をもって今年プログラムを終えることができました。今回も、多くの方のお支えに深く感謝いたします。急なお願いや変更にも快く応じてくださり助けられることの多いプログラムでした。来年もまたユース・アッセンブリーらしいプログラムを行いたいと思います。

〈参加者の感想〉

宮本 樹(札キ・中三)

今回のユース・アッセンブリーで一番関心を持ったことは、(ミカエル)教会に和紙があったことです。教会にも「和」があることにびっくりしたので、他の教会も調べてみたいです。

宮本 実(札キ・小六)

ユースで札幌の教会の色んなことや、サーバーのことに興味を持ってたくさん学びました。グループ毎の自由時間は、グループで協力して安全に遊べよかったです。

橋本瑠可(札キ・大二)

僕は今回二日目から参加さ

せていただきました。札幌の教会の様々な歴史について学ぶことができました。これからサーバーの奉仕をするときに生かしていきたいです。

和田啓祐(札キ・大二)

今回初めてユース・アッセンブリーに参加させていただきました。この四日間を通して札幌四教会の起源や神学校の校長先生の貴重な話しを聞くことができ、自分としても充実した四日間を過ごすことができました。

原田あかね(ミカエル・中二)

今回で二度目の参加になるユース・アッセンブリー。今年札幌か、と思いつつ参加したけど思ったより楽しかったし、割と知らないことがあり学べて良かったです!

吉田彩来(ミカエル・中二)

ユース・アッセンブリーで学んだことは、教会の歴史でした。私は札幌聖ミカエル教会所属ですが、ミカエルの歴史をもっと深く知ることができてよかったです。

大友 然(ミカエル・中二)

僕がユース・アッセンブ

リーで楽しかったことは、各教会の先生のお話です。特に下澤先生の「(ミカエル)教会の歴史」に感動しました。もっと他の教会についても知ってみたいと思います。

織田琉杜(ミカエル・小六)

僕が初めて行ったユース・アッセンブリーでは、ちがう教会の人たちと仲が深まったと思います。いろんな教会のことを知ることができました。楽しかったです。

佐久間大義(今金・小五)

多くのユース・アッセンブリーで楽しかったことは、タピオカを食べたことと、おんせんに入ったことです。タピオカはギュツとしておいしかったです。来年も行きたいです。

佐久間愛子(今金・中二)

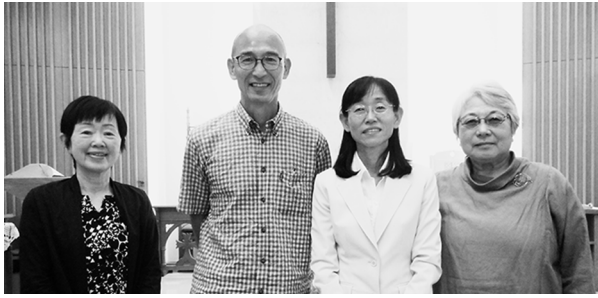
私は、ユース・アッセンブリーでサーバーの仕事についてくわしく知りました。先生方がどのようなことを考えてサーバー等をやっていたのか知れてよかったです。参考にしていきたいです。

北海道教区婦人会第二八定期総会報告

九月三日(火)・四日(水) 於・札幌キリスト教会

教区婦人会総会が役員九名 および補助書記二名、一四教会から二六名の代議員によって開催された。尚、傍聴者、聖職者、特別プログラムの参加者を含めると全体で約九〇名の出席。

第一日、聖餐式をもって始められ、松井新世司祭は、その説教の導入において「教役者として歩みだして一九九年、婦人会の方々に支えられてきた」経験を感じ「寄り添う



左から津川朋子さん、植松功さん、岩本直美さん、神林直子さん

ことの大切さ」を語られた。

総会挨拶において植松誠主教は自らの子ども時代からの体験を踏まえ「婦人会こそ福音宣教の最前線と最後尾を担ってきた」と婦人会を祝福された。

議事に入り、各報告、順次議案は承認された。但し会長選出において滞り、翌日に。

夕食後、夕べのプログラムとして『歌・祈り・黙想』を植松功さんが担当。とりわけ「福音宣教は安心を与えることとです」そして「わたしたちのこころの傷」が神への交わりの入口の扉となることを、友の例、自分自身の体験を通して静かに証され、会衆を祈りへとみちびかれた。

第二日目。朝の祈りの後、会長選出。投票の結果、神林直子さん(札幌聖ミカエル教会)が会長に選出された。退任される津川朋子さん(札幌キリスト教会)の挨拶、その感謝の言葉が心に残る。そして神林さんの挨拶、祈りと協

力を求められ、議事終了。

一〇時半より、特別プログラム。急な招きにに応じてくださった日本キリスト教海外医療協力会の派遣ワーカー岩本直美さんの講演。二五年にわたるバングラデシユでのお働きから聴く。それはラルシユ共同体のコア・メンバー、重い障壁を負った方々の物語であり、その方々に岩本さんが寄り添ってきた物語でもある。過酷な生活を経て、ラルシユに迎え入れられ、時間をかけて紡ぎだされた福音の物語を伝えてくださった。岩本さんの言葉には重度知的障害を伴う重複障害の方々に對する尊敬と敬愛が込められていた。メンバーから教えられたと言う「生きることは美しい」、その言葉の重さを分かちあう講演となった。

今回の総会は、さながら黙想会のようなであった。

(教区婦人会チャプレン司祭池田記)

道北四教会合同礼拝報告

旭川聖マルコ教会信徒

テトス 久末 隼一

今年で一五回を数えまし

た。

参加者は三五名、稚内聖公会の厳しい環境下で、多くの参加をいただき感謝です。

広谷和文分区长の御指摘のとおり、道北四教会の参加者総数に他区域からの参加者総数が肉薄していました。特に、新札幌聖ニコラス教会からは二人の子どもを含めて一〇名が参加下さいました。道外からは、一名の方が全国への参加者募集にお応えくださいました。

特筆すべきは、毎回参加されていた主教様が、ドイツでの世界宗教者平和会議出席の為、初めて欠席されたことです。広谷司祭から主教メッセージを紹介いただき、止むを得ない事情と主教様の、稚内の合同礼拝に寄せる深いお気遣いを知り、ご旅行の安全を皆でお祈りいたしました。

前夜のプログラムは、帯広聖公会の尾関敏明さんの講演「『原発のない世界を求める国際協議会』を終えて」でした。

OHPの説明を通して尾関さんが強調されていたのは、『原発はいのちと人間の尊厳を破

壊する』とのタイトルにあるように、旧来は、被爆による被害状況が中心だったが、今は、倫理的問題としてとらえていくということ。翌

日の合同礼拝後、恒例の「次回合同礼拝について」を話し合いましたが、複数の参加者からこの講演に對して「良かった、考えさせられた」との感想をいただきました。

聖餐式では、広谷司祭による説教、「二人三人が私の名によって集まるところには私もその中に居るのである。」このイエス様の言葉は教会の本質を表わしている・・・と。イエス様のご臨在を感じた二日間でした。





▽小樽聖公会

小樽も非常に暑い日が続き
ました。どうせ短い夏なのだ
からと涼しくなるのを待つ
のも年々大変に思っています。

八月五日(月)、視察のた
め札幌藤女子大学の教員・
学生約二〇名の訪問を受け、
三〇分ほど教会の歴史や建築
について紹介いたしました。
たくさん質問を受け関心の
高さに嬉しく思いました。

一日(日)は植松主教授
の巡回日で、聖餐式の司式・
説教をしてくださり、また愛
餐会をともにし、楽しい交わ
りのときが与えられました。

▽稚内聖公会

八月二四～二五日「道北四
教会合同礼拝」が豊富町の「ホ
テル豊富」と当教会において
開催される。この集いも回を

重ねて一五回目。道北ばかり
ではなく全道各地より(東京
からも一名)三五名も集まっ
て下さった。熱気は十分、で
も気温は上がらず、ストーブ
をつけての礼拝(八月です
よ!)と相成った。稚内らし
い礼拝風景である。信施の半
分は当教会の活動のためお捧
げいただいた。ご尽力下さっ
た皆さん、遠路当地までお越
しく下さった全ての方々から
感謝申し上げます。

来月は、いよいよ道北分
区合同礼拝。この礼拝堂が参
加者で一杯になることを楽し
みに!

▽帯広聖公会

永谷司祭には、八月の乱高
下する気温の中、しかも台風
一〇号も加わった厳しいコン
ディションのもとで、小樽か
ら通って頂いています事に感
謝致します。阿部恵子執事に
は、赴任直後より、立て続け
にご葬儀の補式を頂き感謝致
します。

六日広島、九日長崎の原爆
記念点鐘礼拝が行われ、内外
からそれぞれ一五、六名の参
加がありました。一五日一二
時、終戦記念点鐘礼拝が行わ

れ、一三時よりメノナイト教
会にて「十勝キリスト者平和
の会による講演会」が開催さ
れました。「原発はいのちと
人間の尊厳を破壊する。」と
題し、当教会の尾関敏明氏が
講師を務めました。

一九日より、幼稚園の二学
期が始まり、子どもたちの賑
やかな笑い声が園庭に戻りま
した。二五日故マリヤ及川和
子さんの納骨式が阿部恵子執
事の司式により行われまし
た。改めて魂の平安をお祈り
します。三十一日一時より幼
稚園、園庭にて婦人会主催の
フリーマーケットが開催され
ました。

九月一日には「共に生きる
集い」を開催予定、九月二二
日には、礼拝後「ご長寿をお
祝いする会」を予定しており
ます。

▽苫小牧聖ルカ教会

八月も暑い日が続きまし
た。四日墓地礼拝を行い、逝
去者の平安をお祈りしまし
た。幼稚園は夏休みに入って
いますが、保育の子どもたち
は毎日来ておりました。教会
では先月収穫したハスカップ
で恒例のジャムづくりを行い

ました。いつも労を厭わず働
いてくださる方々に感謝で
す。私たちはともするといろ
んな不平不満をおつけてしま
いますが、イエス様に倣うこ
とができるかどうか一人ひ
とりとして、また教会として

大切であることを吉野司祭が
説教でお話しされました。少
子高齢社会になり、社会はさ
まざまな組織が以前のような
維持をしていくことが難しく
なってきました。私たち一
人ひとりがどのようにイエス
様を現していくのかが問われ
ていると思います。バザーの
準備も始まりました。

▽留萌キリスト教会

潮風が弱くて湿度は高く、
暑さがこたえる八月でした。
無意識に体温が上がり、司祭
は式文の読み違え多発のた
め、扇風機の独占をしました。

一日に墓参の祈りを行
い、納骨堂内の改装現状をお
披露目。広々と皆で入れるね
と、明るい声が響きました。

二五日、豊富・稚内を会場
に、道北四教会合同礼拝が行
われ、小林栄子さんと木村司
祭が参加。とても楽しい交わ
りと、原発についての大事な

学びの時でした。北の果てに
ある教会で、勢いのある礼拝
を捧げられて感謝でした。

▽有珠聖公会

八月二五日、主日聖餐式。
新来者や近隣のご家族などが
礼拝に出席され久しぶりに
二〇名を超す会衆となり感
謝。礼拝後は、お茶を囲みな
がら、九月二八日に開催予定
のバザーに向けて話し合いま
した。信徒それぞれが、ポス
ターやチラシを市内各所に配
布します。有珠の活性化のた
めの市民グループである有珠
バカンス村より、三組の屋外
用のテーブル・椅子・パラソ
ルの寄贈を受けました。直近
のバザーや来年の胆振三教会
合同礼拝の野外ジンギスカン
等に活用したいと話し合いま
した。

▽紋別聖マリヤ教会

八月に入り暑さがやわらぎ
涼しくなり、八月四日墓地礼
拝が行われました。先祖をう
やまい花をささげ水をやりオ
ホーツクの海を望む教会の墓
地は心地良いものです。幼稚
園では第二〇回同窓会が行わ
れ二五人の卒園児がゲームを
したり自分たちで作ったカ

レーライスを食べて楽しいひと時を過ごしました。幼稚園では二六日から新学期が始まりました。子どもたちの成長をお守り下さい。

▽新札幌聖ニコラス教会

八月二四日・二五日、稚内聖公会にて道北四教会合同礼拝が開催されておりますが、本教会からも一〇名の方々が参加いたしました。大切な交わりの機会となりましたこと感謝いたします。二六日は、ギターリストの豊田渉平氏によるコンサートを開催いたしました。午後と夕方の二回上演を行い、合わせて二八名の参加がありました。その内四名の方は地域の方です。参加者の感想からも、素敵な音楽と歌声でとても良い時間を過ごすことができたこと好評でした。私たちは、地域の方々の交流を大切にいくことを願っています。このような機会となったことを嬉しく思います。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

教会の建物は四五歳。信徒の高齢化もあり、いろいろ不

便を感じるところが出てきました。教会を建て替えられないかなあ、ということ、話し合いを持っています。この教会の良い(好き)ところはどこ? 礼拝堂の静けさ、鐘の音、中央の十字架、フレンドリーなど。当たり前のことであるが、設備だけでなく信徒のつながり、絆が話題に出てきたことが嬉しいです。また、不便なところは、石段、階段が昇りづらい、トイレ、水道が凍結する、暖房が不経済、エレベーターが欲しい、葬儀のできる教会に等。また、教会の回りにお花を、対外向けにカフェや食堂をやる等。教会使用の不便なところは次々と出てくる中、自分たちの教会の良い所を再確認しました。つぎの話し合いが楽しみです。保育園の農園は大豊作、玉ねぎ、人参、じゃが芋はカレーセット、トウモロコシ、トマト、キュウリは副食の一品として、おいしくいただきました。もちろん教会でも頂きました。

▽札幌キリスト教会

パイプオルガンの修復作業がスタートしました。八月三

日、パイプオルガン修復企画の第一弾としてカフェコンサート。薫り高いコーヒーを飲みながらフランソワさん・上平更執事のギター、上平未奈さんのリードオルガンを楽しみました。今後、企画の第二弾三弾が予定されています。

同日、第一回日曜学校同窓会を開催。なつかしい先生・同窓生が集い旧交を温めました。四日の墓地礼拝には、一一五名が参集。一日、主日礼拝に聖公会神学院校長の佐々木道人司祭をお迎えし、説教の奉仕をいただきました。

▽札幌聖ミカエル教会

八月九日、ユースアッセンブリーの一行が教会を訪問され、教会の歴史、オルターギルド、サーバーの仕事に触れる時を持つ。婦人会が昼食を提供しました。一日、逝去者記念礼拝と円山の墓地礼拝を行う。今年は教会、教区関係者八名を埋葬、永遠の安息を祈りました。二二日より三浦神学生の夏期実習の受け入れ。短い期間でしたが内容豊かな交わりを頂く。九月より

月一度、月曜午後七時の礼拝後、多様な話題について語り合う「エンジェルサロン」を開催予定。SDG&Sとは、終末期医療について、オランダの子ども教育など、多彩な内容。幼稚園は二学期になり、にぎやかな子どもの声が戻ってきました。

▽聖マーガレット教会

八月四日(日)全逝去者記念聖餐式。午後、藤野聖山園にて墓地礼拝。

八月二〇日(火)ベテロ氏家幸演さん逝去。教会にて葬儀。通夜の祈りにおいて参列者一九〇名を越える。リタイヤ後は町内会長として地域に貢献された人生。

八月二四日(土)ルカ松本裕さん逝去。教会にて葬儀。小学生のお孫さんの号泣が涙を誘う。内科医として特に東洋医学に従事された。

主を信じて世を去った方々への平安を祈る八月でした。

▽室蘭聖マタイ教会

八月四日藤井兄司式でみ言葉の礼拝。その後婦人会室の掃除をし、すっきりする。一日吉野司祭により聖餐の恵みに与る。涼しい日でした。

たが冷やしラーメンを美味しくいただく。霧雨でしたが墓地礼拝のため望洋台墓地へ出発。白老より小林さん夫妻も来られ先人の方々のため祈る。一八日藤井兄によるみ言葉の礼拝。

玄関のドアが五〇年も経ちカギ穴がずれ開かなくなり、隣りの高山さんが削って直してください、開けやすくなり本当に感謝です。

▽岩見沢聖十字教会

平和週間初日の八月四日、植松主教様来岩下さり、六日九日の原爆の日を思いつつ、聖餐式をお捧げしました。私達があまり知らない、この両日にまつわる秘話をお聞きしました。一八日逝去者記念礼拝。今年、長い巻物に記された美唄の逝去者名を読み上げたのは正岡久子さん。体調を万全に整えられてのご奉仕でした。二五日み言葉の礼拝には今春の卒園児とお母さん、おじいちゃん(徳島在住)が出席され、懐かしい一時を過ごしました。幼稚園は二〇日から二学期始業、運動会に向けて早くも練習開始。

▽網走聖ペテロ教会

爽やかな季節となり感謝です。全逝去者礼拝・墓地礼拝が一日多くの方々の祈りとご奉仕により行われ、午前も午後も多くの方々が出席されました。一四日ペテロ小西宣兄が逝去。一六・一七日葬儀が市内斎場で仏式で行われ教会からも多くの方々が会葬されました。魂の平安と永遠の光明をお祈りいたします。林家より林兼治司祭の書(掛軸)が寄贈され感謝、階段が一気に格調高くなりました。林義人兄の諸作業を一同心より感謝。賛美と清掃のペテロの会も続けられていますよ。

▽北見聖ヤコブ教会

暑かったり寒かったり激しい雷雨だったりでしたが、やっと落ち着いた感じです。四日墓地礼拝が納骨堂前で行われ、祈りとヒムプレーヤーの響きが墓地内にこだまいたしました。一雨ごとに草が元気に成長し、皆で草刈奉仕をしています。葡萄は新しく植えたほうはあまり良くないのですが、昔からあるもののが順調で、昨年よりは収穫できそうです。司祭は町内会

の班長をしているのですが、会費徴収・回覧板・広報配布等の時に地域の方々とお交わりできてとても感謝しています。

▽深川聖三一教会

八月四日委員会。野外礼拝について相談、長沼町仲野勇二氏の東屋を依頼。墓地礼拝は二三日納内と九山、一四日深川、一五日内園と音江の各墓所で巡礼礼拝す。一五日保育園職員会議。新築となった園舎の室内プールは連日の猛暑で重宝し快適このうえなし。二〇日故遠山隆司祭夫人とご家族教会訪問。小野垣道代、高木和枝姉妹の協力でもてなし、ご長女の貴子女史はアメリカ聖公会の聖職試験、精神心理担当とのことです。二五日稚内での道北四教会協働礼拝に五名参加。甲斐司祭は帰路マタルナイの信徒松岡義隆さんを訪問する。

▽今金インマヌエル教会

八月に入ってから良い天気が続く、農作物も順調に育っています。

一〇日、共同墓地を清掃。坂の上の水場から何度も水を運び、スポンジとブラシで

隅々まできれいにしました。年に一度の掃除でごめんなさいね、と思いががら...

一日、礼拝後、墓参の祈り。皆で遠藤司祭の墓前で祈った後、信者さんすべてのお墓をまわって、主の平安を祈りました。

▽函館聖ヨハネ教会

暑さも彼岸迄でしょうか。四日マリヤ青木榮子姉逝去。九五歳魂の上に平安を祈る。九日「ヨハネ教会と一緒に遊びませんか」教団CS合同の体験、楽しく学び祈り遊ぶ一時。二四日鈴木淳一兄、納骨式。一日司祭は今金で礼拝後墓参の祈り。一二日道南キリスト者平和祈禱会カトリック宮前教会で。一五日川岸秋姉、東京教区聖ルカ礼拝堂に送籍。一八日定例婦人会。司祭は施設病院廻り追いつかず。二七日アンデレ外崎邦義兄逝去、八三歳。光明と平安を祈ります。

▽新冠聖フランシス教会

八月は、さきに逝かれた方々に想いを馳せる時です。一日の主日礼拝を、当教会に関わる全逝去者のための逝去者記念聖餐式としてお

献げしました。その中で、昨年未だ逝去されたマルタ本田邦子さんとナオミ奥田静江さんのお名前が逝去者記念板に掲げられました。その後、奥田静江さんのご遺骨を地下納骨室にお納めし、安置されている方々ともども記念の祈りを執り行いました。

一五日には判官館墓地にて墓前礼拝を執り行い、大勢のご家族が集いました。

▽平取聖公会

六月中旬以降の天候不順で稲の穂の出るのが二週間ほど遅れた当地ですが、今は穂が垂れて色付き始めました。平取トマトは一六〇戸の農家が栽培していますが、例年並みの収穫のようです。

七月は例年次年度の教区費が示され、教会委員特に会計担当が頭を悩ます時期です。教員が減少し、老朽した施設の修繕費も出ますので会計は大変です。それでも何とか提示額で回答出来ました。

保育園児は九月一日の運動会に向けて園庭で先生方と汗を流して練習しています。

▽旭川聖マルコ教会

一日に晴天の下、教会共

同墓地において四〇名の参列者を得て当教会のすべての逝去者を覚えて墓地礼拝をおこないました。

三二日から一日にかけ江丹別で子ども一六名、大人七名の参加者でログハウスに宿泊し、食事づくり、キャンプファイヤーなどをして楽しい「しようえいキッズキャンプ」を行いました。久しぶりの企画でしたが、参加した子どもたちは楽しい時を過ごすことができました。大人たちは少々バテましたが、子どもたちには、これからも教会の集いに参加して欲しいと願っています。

頌栄保育園では年長さんと卒園児の交流キャンプが三・四日と園庭・園舎を使って行いました。大変良い経験になった事でしょう。

